

新郎は甲冑姿で手に刀、新婦は白むく姿

武将気分で結婚式を

歴史情緒あふれる雰囲気味わいながら、戦国武将の姿で結婚式を挙げる「篠山祝言」のサービスが篠山城大書院（篠山市北新町）で提供されることになり、「模擬挙式」がこのほど披露された。モデル役として、甲冑を身に着けた新郎と白むく姿の新婦が登場し、400年前にタイムスリップしたかのような振る舞いで、来賓を魅了した。（安福直剛）

大書院の指定管理者である一般社団法人「ウイズささやま」で、ホテル「NIPPONIA（ニッポニア）」（篠山市）を運営するパリューマネジメント社（大阪市）が企画。同ホテルで挙式と披露宴を行うことがあり「篠山らしさ」が感じられる場所で挙式を「との思いを込めたという。

模擬挙式では、刀を手にした甲冑姿の新婦が登場すると大きな拍手が起こり、続いて両親に付き添われて新婦も姿を現した。結婚の契りを固めるという意味の「固めの盃」など、独特の儀式があり、新郎が巻物を広げて「築しみも苦しきも分かち合い、夫婦の道に背かないよう誓います」などと読み上げた。

両社の担当者は「地元の若い人たちに知ってもら

篠山城大書院で模擬挙式 企画企業「地域の魅力感じて」

新郎が甲冑姿で登場した「模擬挙式」。400年の歴史を感じることでできる「篠山城大書院

い、歴史的な体験を通じて篠山の良さを感じてほしい」「今回の取り組みを通じて篠山への移住・定住につながれば」と話していた。

実際のサービス提供開始は数カ月後だが、受け付けは既に始めており、挙式だけでなく、挙式と披露宴を兼ねたプランがある。NIPPONIA 0120・210・2809

